

アフリカとの交流・協力の取り組み状況 ～第7回アフリカ開発会議（TICADVII）誘致に向けて～

横浜は、平成 20 年の第 4 回、25 年の第 5 回アフリカ開発会議の開催地となったことを契機にアフリカとの交流・協力を深めています。

高い水準で経済成長を続けているアフリカは今後も大きな成長が見込まれます。アフリカとのビジネスを含めた連携を強化し、市内経済の一層の活性化を図り、技術協力を通じてアフリカの安定と発展に寄与することは、地域と世界の平和と繁栄への貢献につながります。

アフリカ開発会議の横浜での開催は、国際都市横浜のさらなる発展につながり、大きな意義があります。

国際局は、第 7 回アフリカ開発会議の横浜誘致に向けて、アフリカ各国の大使館や外務省、JICA などと緊密に連携し、各区局とともに、様々な取組を進めています。

28 年度の主な取組

1 ビジネス分野

- (1) アフリカビジネスセミナー（7月）
- (2) 日アフリカ・ビジネスウーマン交流プログラム（7月）
- (3) ケニア女性起業家招へい・交流（11月）
- (4) ABE イニシアティブの市内企業活用支援（通年）

2 若者の交流促進等

- (1) 都筑区とボツワナ共和国の交流協力に関する共同発表（5月）
- (2) ベナンと笠間小学校交流（5月～）
- (3) ナミビア大使の平沼高校講演（6月）
- (4) ブルキナファソと港南台第二小学校交流（9月）
- (5) レソト国王・王妃の境木小学校訪問（11月）
- (6) ケニア大使の横浜市大講演（12月）
- (7) ブルキナファソと小菅ヶ谷小学校交流（3月）
- (8) チュニジアと白幡小学校交流（3月）



▲レソト国王・王妃の境木小学校訪問

3 技術協力

(1) 水道

- JICA 研修受入課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」（7～8月）
・エチオピア、ケニア、マラウィ、ナイジェリア、スーダン、タンザニア（6か国）

(2) 港湾

- ア JICA 研修受入課題別研修「港湾物流効率化」(アフリカ地域)(11月)
 - ・ベナン・コトヌー自治港等
- イ JICA 研修受入 国別研修等(通年)
 - ・モザンビーク、ケニア、ウガンダ、コートジボワール

(3) 動物保全

ウガンダ野生動物の保全、教育普及活動・研修員受入(10~11月) 専門家派遣(2月)

(4) その他(課題解決経験等紹介)

- ア エチオピア・アディスアベバ市代表团(11月)
- イ コートジボワールインフラ分野代表团(3月)



▲コートジボワール代表団の地下鉄視察

4 国内外への発信

- (1) アフリカ各国のメディア(ケニアテレビ局 NTV ほか)へのアピール(通年)
- (2) アフリカ紹介セミナー開催(JICA 横浜連携)(7月)
- (3) 第6回アフリカ開発会議参加(8月)
 - ア 市長が3つのサイドイベントでスピーチ
 - ・横浜の女性活躍推進の取組や都市開発、廃棄物管理の経験等を紹介
 - イ 展示会「ジャパンフェア」で、横浜企業と連携し、横浜をアピール
 - ウ TICADVIIの誘致を表明
- (4) TICAD フォローアップセミナー開催(JICA 横浜連携)(12月)
- (5) よこはま国際フェスタ2016で発信、アフリカ9か国大使館ブース出展(10月)
- (6) よこはま国際フォーラム TICAD 関連セミナーで横浜 PR(2月)

5 市内でのイベント支援

- (1) アフリカンフェスティバルよこはま2016(4月)《主催:同実行委員会》
- (2) トーゴ文化フェスティバル横浜開催(4月)《主催:トーゴ大使館》
- (3) アフリカンフェスタ in ズーラシア(4月)《主催:緑の協会》
- (4) エコ・アフリカヘリテイジフェスティバル(5・6月)
 - 《主催:アフリカヘリテイジコミティー》
- (5) SEISA Africa・Asia Bridge2016(11月)《主催:公財世界こども財団ほか》
- (6) ブルキナファソナショナルデー記念プログラム(12月)
 - 《主催:ブルキナファソ大使館》

第7回アフリカ開発会議(TICADVII)の誘致表明、国への要望行動等(当局・市会)

- ・28年8月 市長がTICADVIIの横浜誘致を表明(ケニア・ナイロビ)
- ・28年11月 市長が外務大臣政務官に横浜開催を要望
- ・29年2月 市会本会議「第7回アフリカ開発会議の横浜開催を求める決議」
- ・29年2月 日本アフリカ友好横浜市議員連盟が内閣官房長官らに要望行動